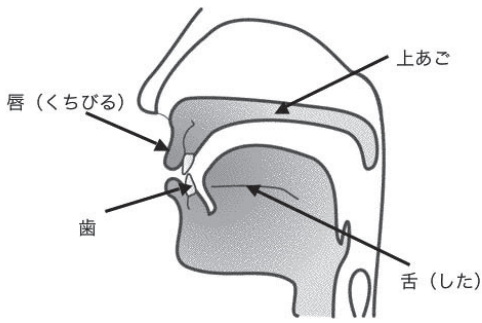


口腔機能低下症 ってどんな病気？

口腔機能低下症とは、虫歯、歯周病や歯の欠損の問題だけではなく、口の機能が低下している状態をさします。口腔機能は、加齢や疾患等によって徐々に低下しますが、自覚症状に乏しく、機能低下が進行してしまつてから気がつくことが多いです。口の機能が低下すると、栄養を中心とした食環境が悪化し、全身の健康に大きな悪影響を与える事が最近分かってきました。



口腔の断面図

口腔機能低下の評価項目は次の7つがあります。

- ① 口腔の衛生状態
- ② 咬む力
- ③ 咬める能力
- ④ 口腔の乾燥状態
- ⑤ 舌の力
- ⑥ 舌と唇の運動機能
- ⑦ 飲みこむ機能



この項目のうち、3項目以上問題がある場合、口腔機能低下症に当てはまります。当てはまっている場合、該当部への対応を行い、数か月後に再評価を実施し、機能維持や改善を目指します。

- 日常生活に当てはめると、以前と比べて、次のような症状がでた時は疑わしいです。
- ・ 食べ物が口に残るようになった
 - ・ 固いものが食べにくくなった
 - ・ 食事の時間が長くなった
 - ・ 食事の時にむせるようになった
 - ・ 薬を飲みこみにくくなった
 - ・ 口が乾くようになった
 - ・ 食べこぼしをするようになった
 - ・ 滑舌がわるくなった

・ 口の中がよごれている

こんな症状はありませんか？ 疑わしい時は注意が必要です。

口腔機能改善のための対応を行っている歯科もあります。が、あまり知られていません。この病気について、歯科としてできることがたくさんあります。

「口腔機能低下」の早期発見は、生涯にわたり、食べる楽しみや会話に花をさかせ、健康長寿を支えます。是非、かかりつけ歯科にご相談ください。

智頭病院歯科では 訪問診療をしています

通院困難な場合、
智頭病院歯科では
訪問歯科診療を
中心に行っています。
お気軽に相談ください。



参考 老年歯科医学会「高齢期における口腔機能低下症」の概念と診断基準

智頭病院の花壇が今年も 華やかになりました

智頭つくし会(檀原忠雄会長)の皆さんが、病院の花壇にたくさんのお花を植栽してくださいました。

サルビアやポーチュクラなど色彩鮮やかな花々が、入院している患者さん、来院される皆さんの心を和ませてくれます。

つくし会の皆さん、ありがとうございました。



つくし会は会員相互の親睦と「尽くす」という小さな親切運動を目的に発足、今年で59年になります。

問合せ先

国民健康保険智頭病院 総務課

☎ 75-3211